



滝小だより

滝頭小学校学校だより 2020th

令和2年6月30日

7月号

横浜市立滝頭小学校

校長 鶴飼 数夫

手をつなごう 笑顔いっぱい 大好き滝小

Hand in hands, Shining Smiles, We ♥ TKG



〒235-0011 横浜市磯子区丸山 2-25-1 TEL 045-751-0344、0345

Fax 045-761-9392

URL: <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/takigashira/>

滝頭小 検索

たとえ2m離れても、心の距離は0m

校長 鶴飼 数夫

曇天と大雨を繰り返し、時折見せる強い日差しと白い雲は真夏を思わせます。毎日湿度は高く、蒸し暑い日が続きます。まさに梅雨真っ只中です。

臨時休校から学校が再開して1か月が経ちました。一日おきの分散登校から、午前日課の短縮授業を経て、いよいよ今週の水曜日からは、給食が始まります。

子どもたちは、大変よくがんばっています。毎朝の検温、登校班の時差スタート、昇降口前や廊下での手洗い、マスクの着用、なるべく密集しないように注意しての行動など、「新しい生活様式」とよばれるずい

分細かい行動基準が示されているにもかかわらず、一人一人がとてもしっかりと気を付けて行動しています。これはきっと、ご家庭でも一緒に確認していただいていることの表れだと思います。ご協力とご配慮に心より感謝いたします。

実際には、教室内で完全に2mの距離を保つことは不可能です。休み時間になれば、どうしても密集状態は生まれてしまいます。近くでの会話を控えると言っても、友達同士の会話を止めるようなことはできません。私たちは「新しい生活様式」ができていなかったからと言って、一つ一つガミガミと注意していくようなことはしません。それより、なぜ何のために手を洗い、できるだけマスクを着用し、友達との距離を保たなければいけないのか、その理由を理解し、自分の頭で考えて行動ができるようにしたいと思っています。体育の授業や外で遊んで走り回る時に、苦しくならないように周囲に人がいないことを確認してマスクを外したり、校舎に入る時には着用して自然と手を洗ったりすることができるようになることが大切です。これまでの「学校のきまり」も同様です。「決まっているから」「規則だから」ではなく「〇〇に必要なから」「〇〇のために」と考えて自分の行動を決められるようにしていきたいと思っています。そして、このように増えた制限や限られた条件の中でも楽しく充実した学校生活を送れるように、私たちも様々な工夫をしていきたいと思っています。学校が再開して間もないころ、子どもたちが口々に「学校っていいものだな」「友だちと会えてうれしい」と本音で語っていたことをいつまでも大切にしていきたいと思っています。

学校生活でも社会生活でも、なかなか先が見えず、いつまでこの行動様式を続けていけばいいのか分からないので、不安が募っていきます。そして様々な情報が錯綜し、何が正しいのか分からなくなってくると、やがて、見えない恐怖に支配され、自分に都合のいい価値観で行動するようになってしまいます。確認したはずの行動規範は崩れ、自分自身を安心させるために他人を偏見や差別で攻撃したりして、人々の心は分断されていきます。そのようなことが少なくとも学校生活の場面で起こることのないように、「心の距離は0m」「笑顔いっぱい」を心がけていきたいと思っています。

【日本赤十字社】のサイトを是非ご参照ください。

「ウィルスの次にやってくるもの」<https://www.youtube.com/watch?v=rbNuikVDrN4>

「新型コロナウイルスが引き起こす3つの感染症」

<https://www.youtube.com/watch?v=OTUdYQJofp4&t=1s>

